

答 辞

柔らかく、暖かな日差しが降り注ぎ、新たな春の訪れが感じられる季節となりました。

本日は、私たち卒業生のために、盛大な卒業式を開いていただき、ありがとうございます。また、ご多用のところご臨席いただきましたご来賓の皆様、保護者の皆様に見守られ、在校生の皆さんに囲まれながら、晴れやかに卒業できることを、卒業生を代表し、厚く御礼申し上げます。

三年前、少々大きい制服に身を包み、この体育館で入学を祝っていただいたことが、つい先日のごとくのように思い出されます。その日から、楽しいこと、嬉しいこと、悲しいこと、様々な思いを53名で共有し、私たちは今日まで成長してきました。

一年生の頃は、新しい環境に戸惑い、学習や部活動など、目の前のことにおおしゃらに取り組むことで精一杯でした。しかし、私たちの前には常に先輩という大きな存在がありました。優しく、行動力に溢れた先輩方は私たちの憧れであり、その背中を追いかけて続けたからこそ、互いに認め合い、支え合える今の私たちがあるのだと思います。

二年生になると、中堅学年として、中心的な立場を任されることが多くなりました。初めは先輩になることへの不安もありましたが、先輩方から学び、級友と力を合わせることで、次第に責任や自覚が芽生え、個人として、学年として成長することができたと思います。

そして、三年生。『Break the limit～新時代を切り開け～』を生徒会テーマに掲げ、私たちは学年だけでなく、全校へ心を配ることを大切にしながら様々な挑戦をし

てきました。特に、今年度の運動会は、広くなった校庭で行う初めての運動会でした。競技形態の変更など、昨年と異なる部分も多く不安もありましたが、全校生徒が一丸となり、一人一人が輝く運動会を創り上げることができたと思います。また、行事だけでなく、日々の学校生活でも、私たちは自分たちが目指す「新時代」に向かって、仲間とともに「最後」の一年間を築き上げてきました。時には満足のいく結果が得られないこともありましたが、一生懸命力を尽くした過程は決して無駄でなく、今の私たちの生きる力となっています。

明後日は3月11日。あの日から八年の時が経ちます。急変した海に飲み込まれた町。悲しみにくれる大人の姿を見て、幼心に大変なことが起きていると感じた記憶があります。そんな私たちに世界中の方々が気持ちのこもった支援をしてくださいました。今もなお、私たちは、多くの方々に支えられながら生活しています。だからこそ、鹿折の未来を担う存在である私たちには、感謝の気持ちを忘れず、自分たちなりの形で恩返しをしていく使命があります。

私たちはこの三年間、さくら学習を通じて「まちづくり」について考えを深めてきました。今年度は「社会のためにできることを考える」を学年テーマに、地域で活動する方々の講話を聞き、ワークショップで意見交流を行い、中学生にできることを考えました。その学びを踏まえてチャレンジしたのが、鹿折南住宅の方々との交流会です。交流会では、たくさんの方々の笑顔に触れ、コミュニティの重要性を改めて実感することができました。そして、三年間の学びを発信するために、文化祭では創作劇に取り組みました。脚本づくりから演出まで一人一人が主体的に活動し、試行錯誤を繰り返して完成した劇「For the Future」では、自分たちの願いや思い、「人と人が関わりあって生きていく」ことの大切さしっかりと表現できたと思います。これからも、自分にできる小さなことを継続して行

うことで、「地域に支えられる存在」から、「地域を支える存在」へ、更には、「地域の人と人をつなぐ架け橋」になっていきたいと思います。

この鹿折中学校で過ごした三年間、私たちは仲間とともにたくさんの良い経験をし、大きく成長することができました。

在校生の皆さん、明日からは、皆さんが鹿折中学校の中心となり、新たな時代を切り拓いていくこととなります。中学校生活はあっという間です。一日一日を大切にし、充実した学校生活を送ってください。

校長先生をはじめ諸先生方、いつも私たちのことを第一に考え、親身に思ってくださいました先生方のご指導のお陰で、私たちはいくつもの壁を乗り越えてくることができました。

地域の皆様。私たちの中学校生活は、皆様の協力があってこそ成り立つものです。『いってらっしゃい』『お帰りなさい』の温かい一言に背中を押され、私たちは安心して学校生活を謳歌することができました。

私たちを見守り、支えてくださった方々に心より感謝しています。本当にありがとうございました。

そして、私たちの卒業を誰よりも喜んでくれているお父さん、お母さん。素直になれない時期が続き、たくさん心配をかけていたことと思います。それでも、私たちを信じ続けてくださり、本当にありがとうございます。普段は恥ずかしくてなかなか言えませんが、15年間大切に育てていただき感謝しています。今後も未熟さゆえに、心配や迷惑をかけてしまうことがあるかと思いますが、私たちは自分で決めた道を一步一步歩んでいきます。これからもどうぞよろしくお願ひします。

いよいよお別れの時が近づいてきました。新生活への期待が膨らむ一方で、もう少し中学生でいたいという気持ちもあり、複雑な思いです。これから私たち53名は、それぞれが描く未来に向かって新たな一步を踏み出します。行く手にはいくつもの困難が待ち受けているかもしれませんが、しかし、そんな時は中学校生活で学んだことと、ともに頑張っている仲間がいることを力にして、乗り越えていきたいと思えます。伝統ある鹿折中学校の卒業生であることに誇りを持ち、未来に向かって力強く羽ばたくことを、ここに誓います。

最後となりますが、ご臨席いただきました皆様のご多幸と、鹿折中学校の更なる飛躍と発展を祈念し、答辞といたします。

平成31年3月9日

卒業生代表 生駒 大地